

今、朝の連続テレビ小説で、日本の植物学の父とされる人物をモデルにしたドラマが放送されています。主人公が、植物学、植物学者という名称にこだわる強い執着が印象的です。明治時代、西洋の「……学」への憧れもあったのかもしれません。日本語の「……学」は、皮膚科学 dermatology のイメージから、英語の「-ology」に対応するという先入観念がありましたが、必ずしもそうでないことに気付かされます。くだんの植物学は botany ですし、物理学 physics, 化学 chemistry と、むしろ -ology がついていないもののほうが多いようにみえます。学問領域別に名付けられた大学の学部名も、法学、文学、理学、工学等々の英語名が示す通り、ほとんど -ology はついていません。

医学 medicine も然りです。医学のなかで、内科学 internal medicine, 外科学 surgery, 小児科学 pediatrics, 産科学 obstetrics, 精神医学 psychiatry といった主要とされるものには -ology はついていません。やっと、臓器別になって、血液学 hematology, 消化器学 gastroenterology, 眼科学 ophthalmology などのお馴染みの -ology がでてきます。

20 数年前、在籍していた大学で、医学教育改革の一環として 6 年一貫統合カリキュラムの作成に関与しましたが、そのときのスローガンが、「我々は -ology を捨てた」でした。意図するところは、-ology に象徴される講座の垣根をなくした教育を目指すということでしたが、できあがったカリキュラムでは、もともと -ology がついていない「……内科学」、「……外科学」という名称はなくなる一方、「血液ユニット」「消化器ユニット」のように -ology の名称が教育単位になるという皮肉な結果（あくまでも血液学、消化器学ではないというのがエクスキューズですが）になってしまいました。

「……学」（-ology も含めて）は大学の講座名と密接に関係します。その「講座」は大学における形式上の教育組織単位ですが、類似した名称である「教室」は講座に基づく教員集団、「医局」は病院の診療を担う医師集団になります。本邦医学部においては、医局講座制といわれるように、この 3 つは一体化しています。明治時代、東京帝国大学において、「皮膚病学徴毒学講座」が設置され、第 3 代教授土肥慶蔵先生の時代（明治 35 年）に、教室名は「皮膚科教室」となりました。東京大学では、途中、「皮膚科学講座・泌尿器科学講座かつ皮膚科泌尿器科教室」の 1 教室・2 講座の時代を経て、「皮膚科学講座かつ皮膚科教室」となり現在に至っています。ただし、今は、講座名、教室名とも皮膚科学と記載されていることもあります。そのほうがわかりやすいともいえますが、土肥先生が、講座名につながる「皮膚科学教室」ではなくあえて「皮膚科教室」とした意図を考えてみてもよいかもしれません。ただし、皮膚科学と皮膚科はどちらも英語で言えば dermatology です、そういった観点からは別にどっちでもいいじゃないかと言われそうですが……。

（土田哲也）

— 顧 問 —

大原國章 大塚藤男

— 編集委員 —

土田哲也 五十嵐敦之 相馬良直 林 伸和 佐伯秀久

「皮膚科の臨床」第 65 巻 第 8 号 7 月号

2023 年 7 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 48,950 円（本体 44,500 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。